



“地域のことは地域で考えよう”

2015年6月26日

おきぎん県内景況・速報 2015年5月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2015年5月分)

◎2015年5月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や食料品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は軽乗用車需要の減少などから前年同月を下回りました。

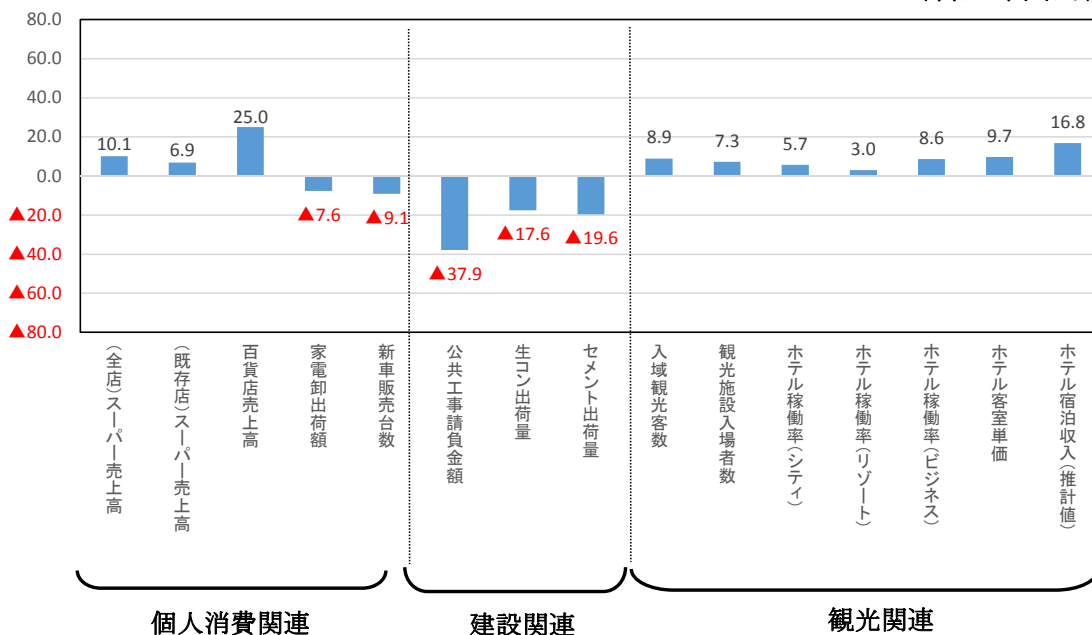
建設関連では、公共工事請負金額は、市町村や沖縄県発注工事の減少などで前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントもともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は32ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連において前年の大型工事の反動などで下回り、個人消費は前年の消費税増税に伴う落ち込みからの反動増がみられる中、観光関連では堅調な動きが続いていることなどから「**県内景況は拡大している**」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から16ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



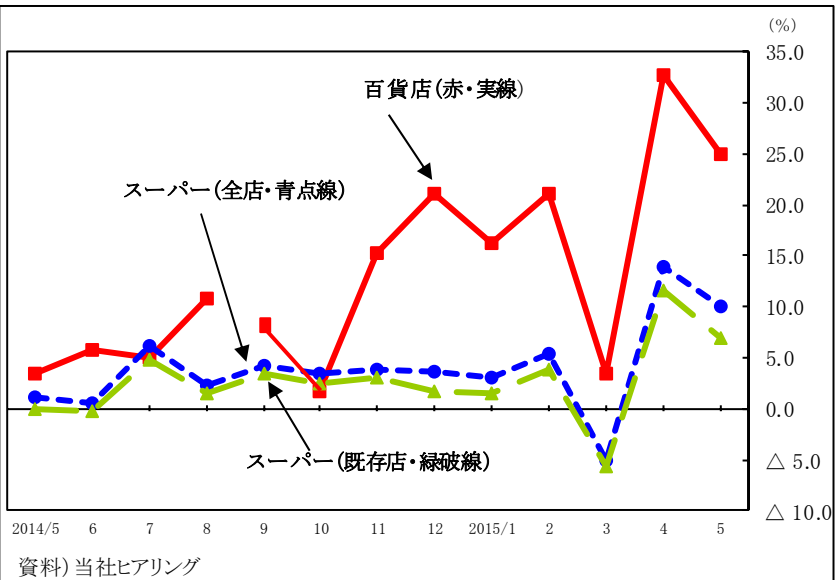


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	8.8
10	3.4	2.4	1.7
11	3.8	3.0	15.2
12	3.6	1.7	21.0
2015/1	3.0	1.5	16.3
2	5.4	3.8	21.0
3	△ 5.1	△ 5.7	3.5
4	13.9	11.6	32.8
5	10.1	6.9	25.0



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

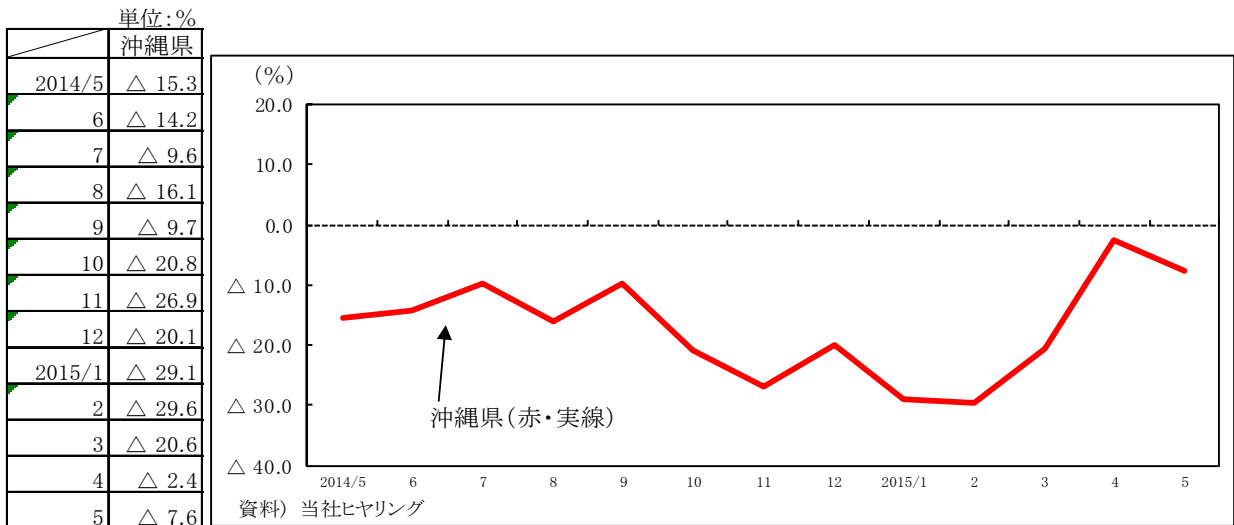
5月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比 10.1%増)**」が2ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増や新規出店効果などから、ウエイトの高い「食料品(同 9.6%増)」を中心に、前年同月を上回りました。

「**既存店ベース(同 6.9%増)**」は店舗改装による集客効果などから、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 6.8%増)」は、青果の一部で相場高がみられたものの、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「衣料品(同 1.5%増)」は前年より梅雨入りが15日遅く、気温が高く推移したことなどから、夏物衣料や肌着などの売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 9.7%増)」も訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類など)や、気温高によるエアコン需要の増加などにより、前年同月を上回りました。

百貨店売上高*は「衣料品」や「食料品」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました(同 25.0%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同 16.4%増)」は、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増や販促強化による集客効果などから、主力商品の「婦人服(同 10.5%増)」を中心に売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。「食料品(同 44.3%増)」も、テナント改装や新規催事の開催による集客効果などから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 36.2%増)」や「身の回り品(同 13.6%増)」では、継続的な訪日観光客需要により売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

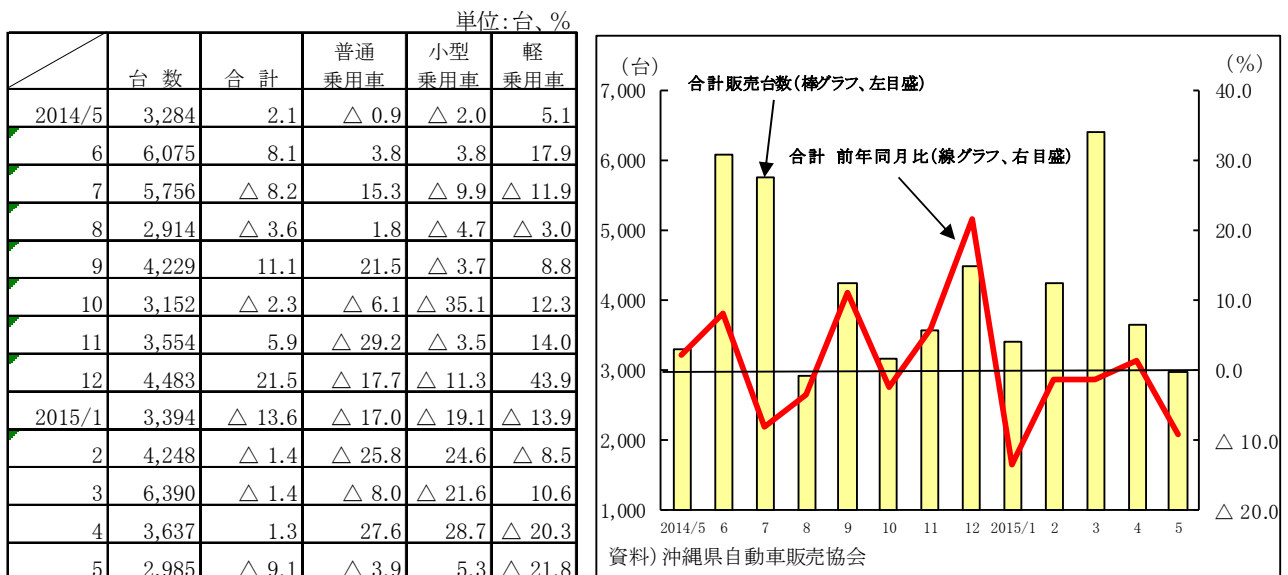
②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネルの売上減少などにより、14 ヶ月連続で前年同月を下回りました(同 7.6%減、太陽光パネルの影響を除くと 5.9%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 62.6%減)」は新規接続中止の影響から売上減少が続いていること、「洗濯機(同 4.1%減)」は高価格商品の需要の落ち込みなどから、前年同月を下回りました。一方、「冷蔵庫(同 30.4%増)」は、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増などから、「テレビ(同 1.0%増)」は 4K テレビの売れ行きが堅調であったことなどから、「エアコン(同 5.5%増)」は梅雨入りが遅く、気温が高く推移したことなどから、売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。

③新車販売台数…軽乗用車需要の減少などから、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

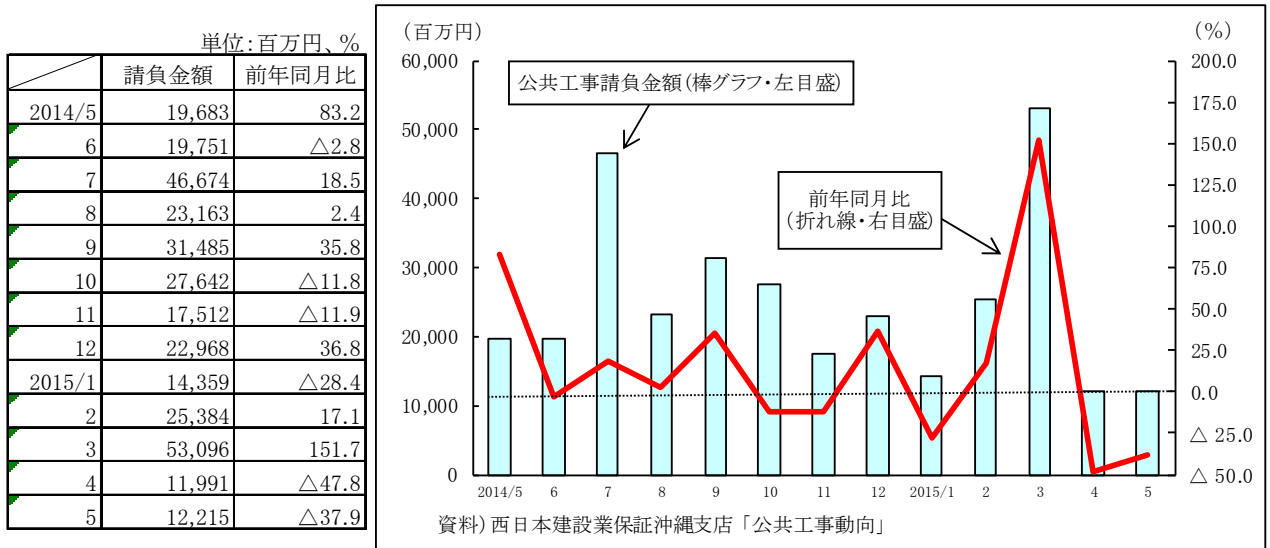
新車販売台数は、全体で 2,985 台(同 9.1%減)となり、軽乗用車需要の減少などから 2 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、レンタカー需要の増加などから「小型乗用車(同 5.3%増)」は 2 ヶ月連続で上回ったものの、「軽乗用車(同 21.8%減)」は軽自動車税増税の影響などから 2 ヶ月連続で下回り、「普通乗用車(同 3.9%減)」は 2 ヶ月ぶりに下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



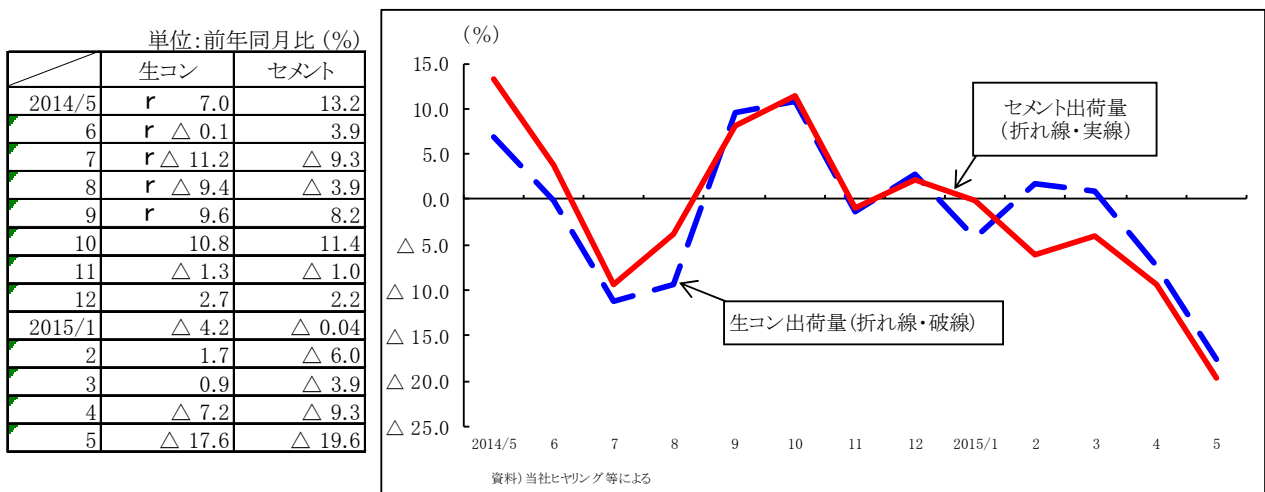
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。



5月の公共工事請負金額は、前年同月比37.9%減の122億1,500万円となりました(2ヵ月連続減)。発注者別でみると、「その他の公共的な団体(同181.2%増)」は海洋博公園関連工事などで前年同月を上回ったものの、「国(同11.2%減)」は前年あった宮古島市での地下ダム関連工事、「独立行政法人等(同94.3%減)」は沖縄自動車道関連工事、「沖縄県(同43.1%減)」は浄水場関連工事、「市町村(同65.3%減)」は製糖工場関連工事などの反動で前年同月を下回りました。

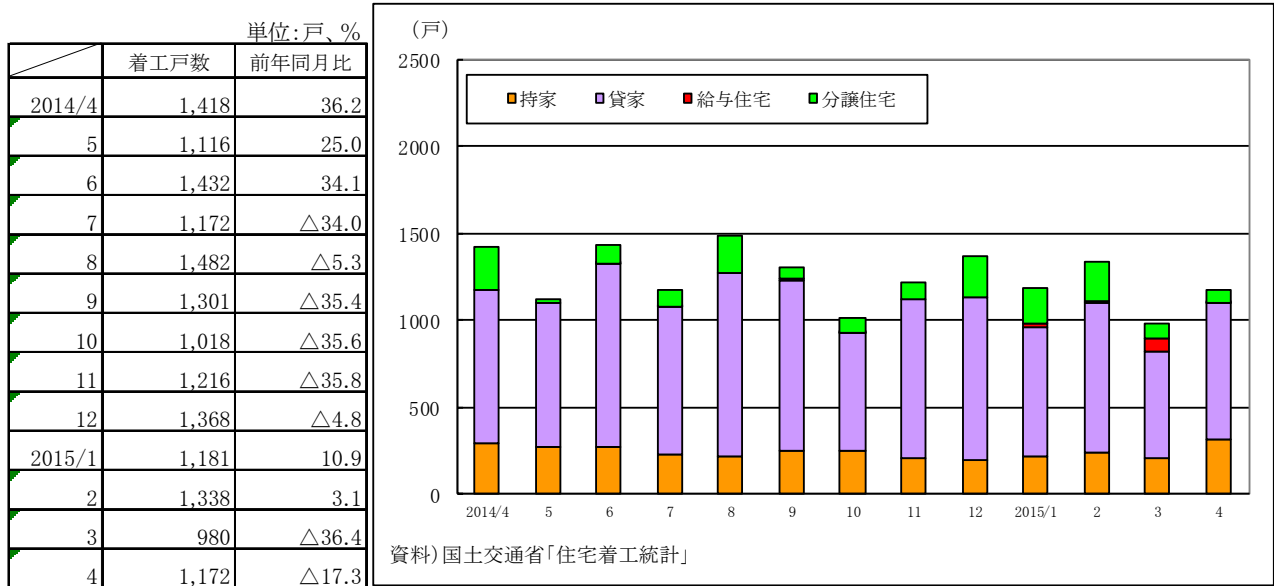
②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注1)セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある
(注2)生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は17.6%減少し、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より19.0%下回り、民間工事向け出荷も16.9%下回りました。**セメント**の出荷量は19.6%減と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(4月)…着工戸数は前年同月を下回る。



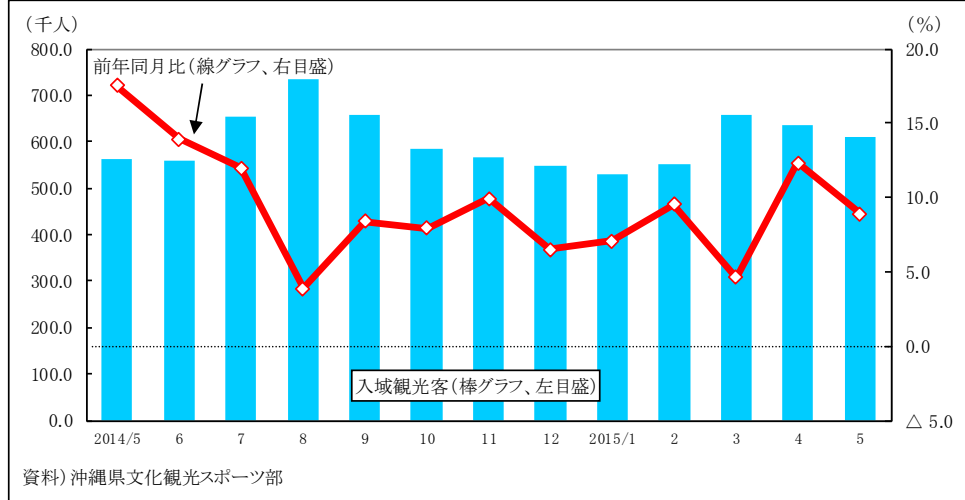
新設住宅着工戸数(4月)は、全体で前年同月比17.3%減の1,172戸と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同6.8%増)」は前年同月を上回ったものの、ウェイトの高い「貸家(同11.7%減)」、「分譲住宅(同69.6%減)」が下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…32ヵ月連続で前年同月を上回る。

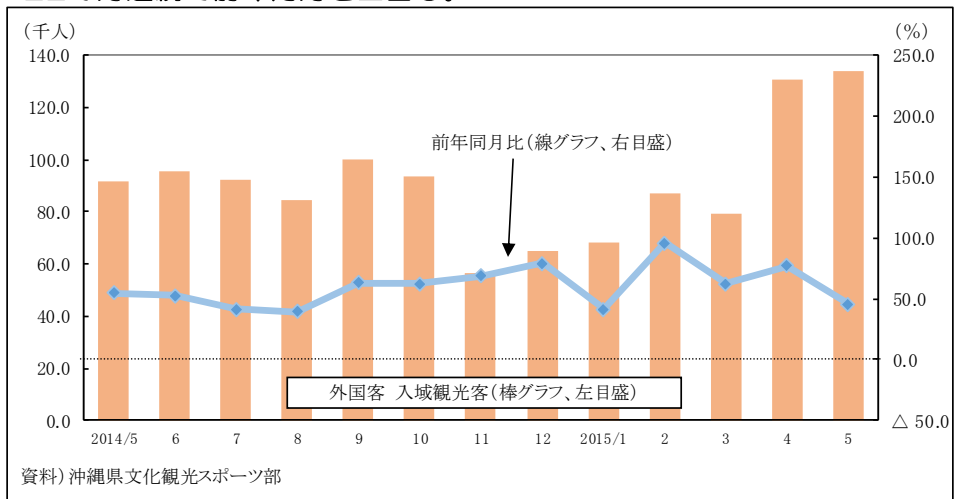
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/5	561.4	17.5
6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	733.3	3.9
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1
2	550.9	9.5
3	659.0	4.6
4	635.4	12.3
5	611.4	8.9



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…22ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/5	91.7	54.4
6	95.5	52.8
7	92.3	41.6
8	84.2	39.4
9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2
2	86.7	95.7
3	79.0	62.2
4	130.6	76.7
5	133.7	45.8



※外国客は乗務員等を含む

5月の入域観光客数は、50,000人多い611,400人(前年同月比8.9%増)となり、32ヵ月連続で前年同月を上回りました。(5月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同1.7%増)」は477,700人と、台風6号の影響により一部の航空路線において欠航があったものの、全体ではLCCを中心とした航空路線の拡充効果がみられ、ゴールデンウィーク期間中の旅行需要も好調に推移したことなどから、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同45.8%増)」は、133,700人と22ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

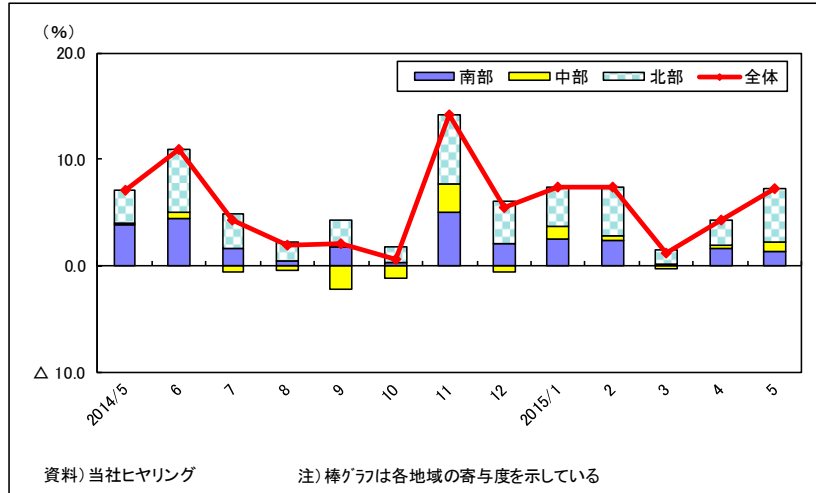
「台湾(同32.3%増)」「韓国(同113.7%増)」「中国本土(同119.0%増)」「香港(同36.1%増)」

※乗務員等を除く2015年5月実績＝全体594,300人(同8.8%増)、外国客116,600人(同52.6%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…15ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/5	7.0	9.6	r 0.3	6.7
6	10.9	11.1	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△ 4.6	6.0
8	1.8	1.3	△ 3.0	3.4
9	2.0	5.1	△ 16.6	4.8
10	0.6	0.7	△ 8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△ 4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.2	△ 2.2	2.9
4	4.3	r 4.2	2.1	5.1
5	7.3	3.3	7.0	10.9

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



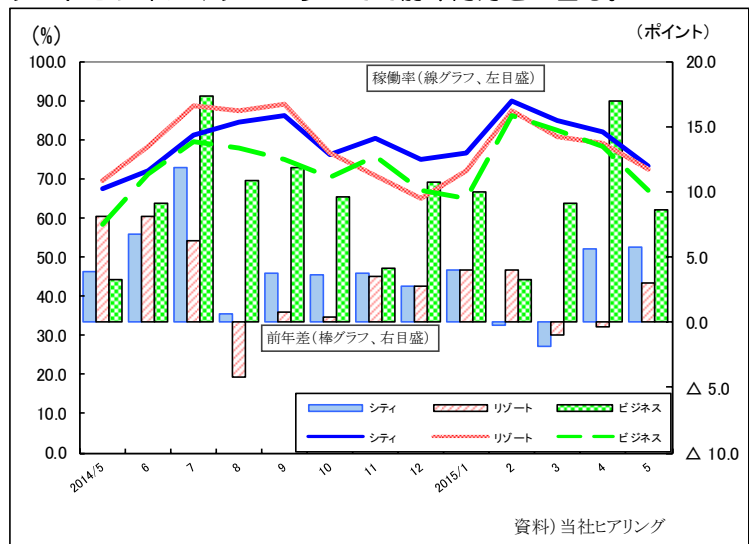
観光施設入場者数は、全体で前年同月より7.3%増加(15ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同3.3%増と19ヵ月連続、中部は同7.0%増と2ヵ月連続、北部は同10.9%増と15ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	80.4	70.6	75.7	3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7
2015/1	76.4	72.0	65.1	4.0	4.0	10.0
2	89.7	87.4	86.1	△ 0.2	4.0	3.2
3	84.9	80.6	82.4	△ 1.9	△ 1.0	9.1
4	r 82.1	79.1	78.1	r 5.6	△ 0.4	16.9
5	73.1	72.4	67.1	5.7	3.0	8.6

注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

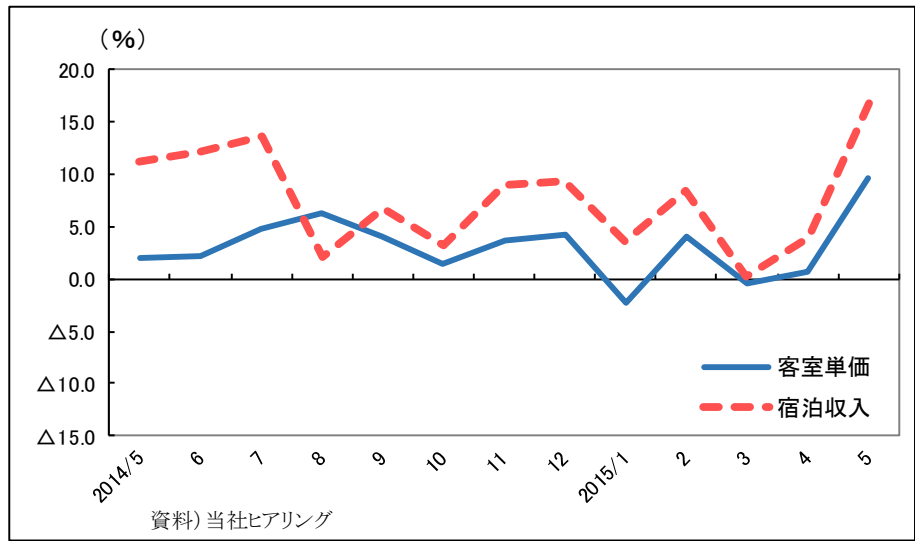


県内ホテル稼働率は、シティホテルが73.1%と5.7ポイント上昇(2ヵ月連続)、リゾートホテルが72.4%と3.0ポイント上昇(3ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが67.1%と8.6ポイント上昇(19ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位:%

	客室単価	宿泊収入
2014/5	r 1.9	r 11.2
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1
9	4.0	6.8
10	1.4	3.2
11	3.7	9.0
12	4.3	9.4
2015/1	△2.3	3.6
2	4.1	8.5
3	△0.5	0.2
4	r 0.7	r 3.9
5	9.7	16.8



※対象施設数: 29施設 (シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は前年同月比 9.7%増と前年同月を上回り、**宿泊収入**も同 16.8%増と前年同月を上回りました。

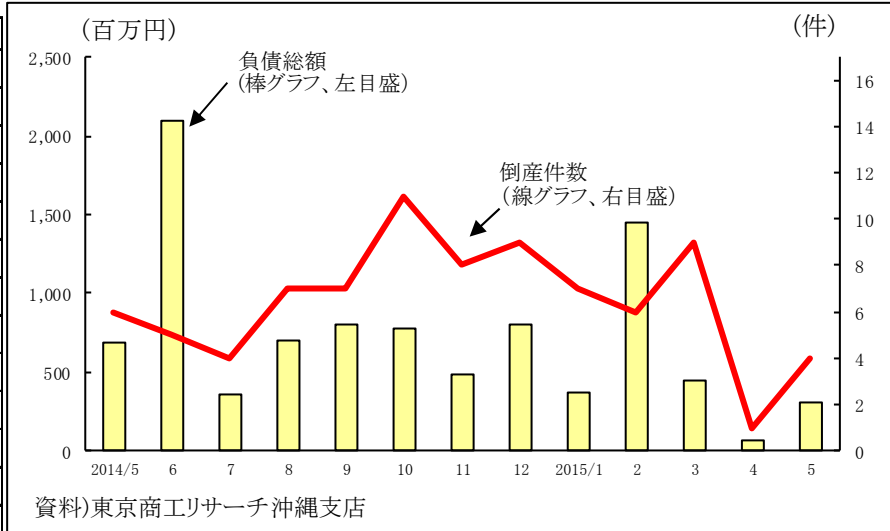


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2014/5	683	6
6	2,090	5
7	361	4
8	697	7
9	808	7
10	774	11
11	487	8
12	806	9
2015/1	375	7
2	1,453	6
3	451	9
4	62	1
5	313	4



5月の企業倒産件数は、4件(うち、1億円以上の大口倒産は1件)発生し前年同月より2件少なく、負債総額は3億1,300万円と54.2%減少しました。

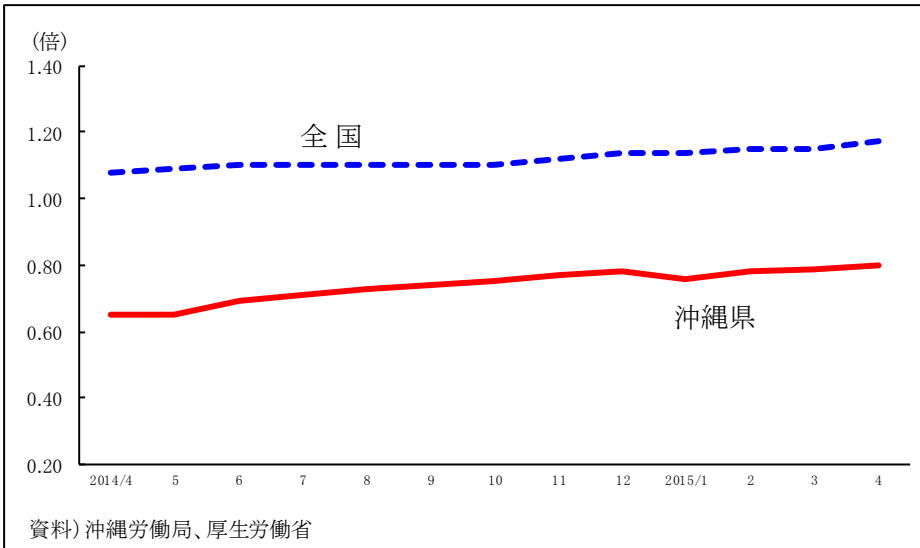


【参考】雇用関連: (やや良い)

(参考)有効求人倍率(4月)…沖縄、全国ともに前月より上昇。

単位: 倍

	沖縄県	全国
2014/4	0.65	1.08
5	0.65	1.09
6	0.69	1.10
7	0.71	1.10
8	0.73	1.10
9	0.74	1.10
10	0.75	1.10
11	0.77	1.12
12	0.78	1.14
2015/1	0.76	1.14
2	0.78	1.15
3	0.79	1.15
4	0.80	1.17

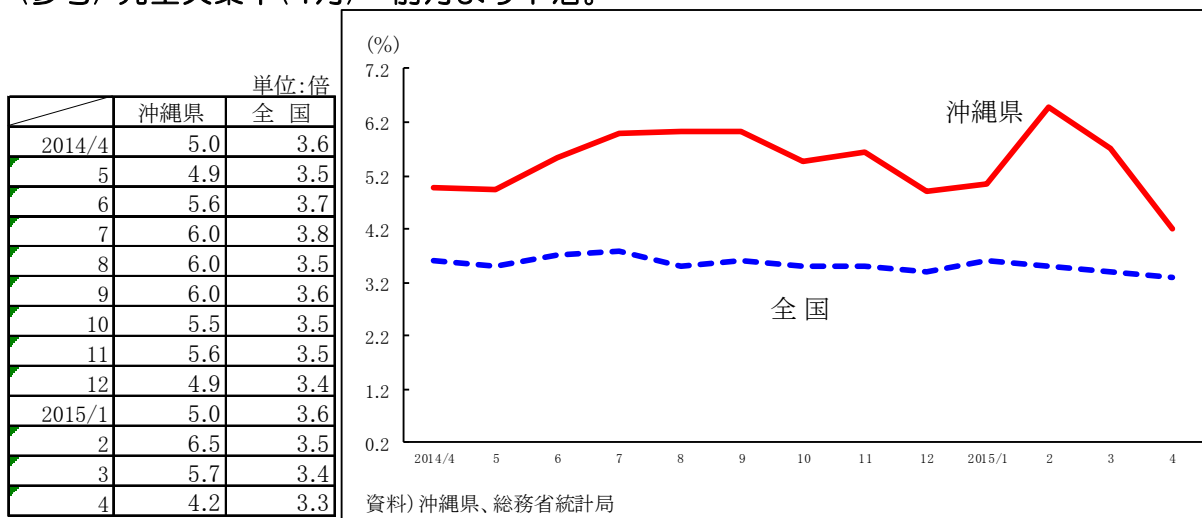


注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

4月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.9%増の23,282人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.3%増の28,922人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.80倍(本土復帰以降最高値)となり前月より0.01ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(4月)…前月より下落。



注) 季節調整済

4月の完全失業率(季節調整値)は、4.2%となり前月より1.5ポイント下落しました。